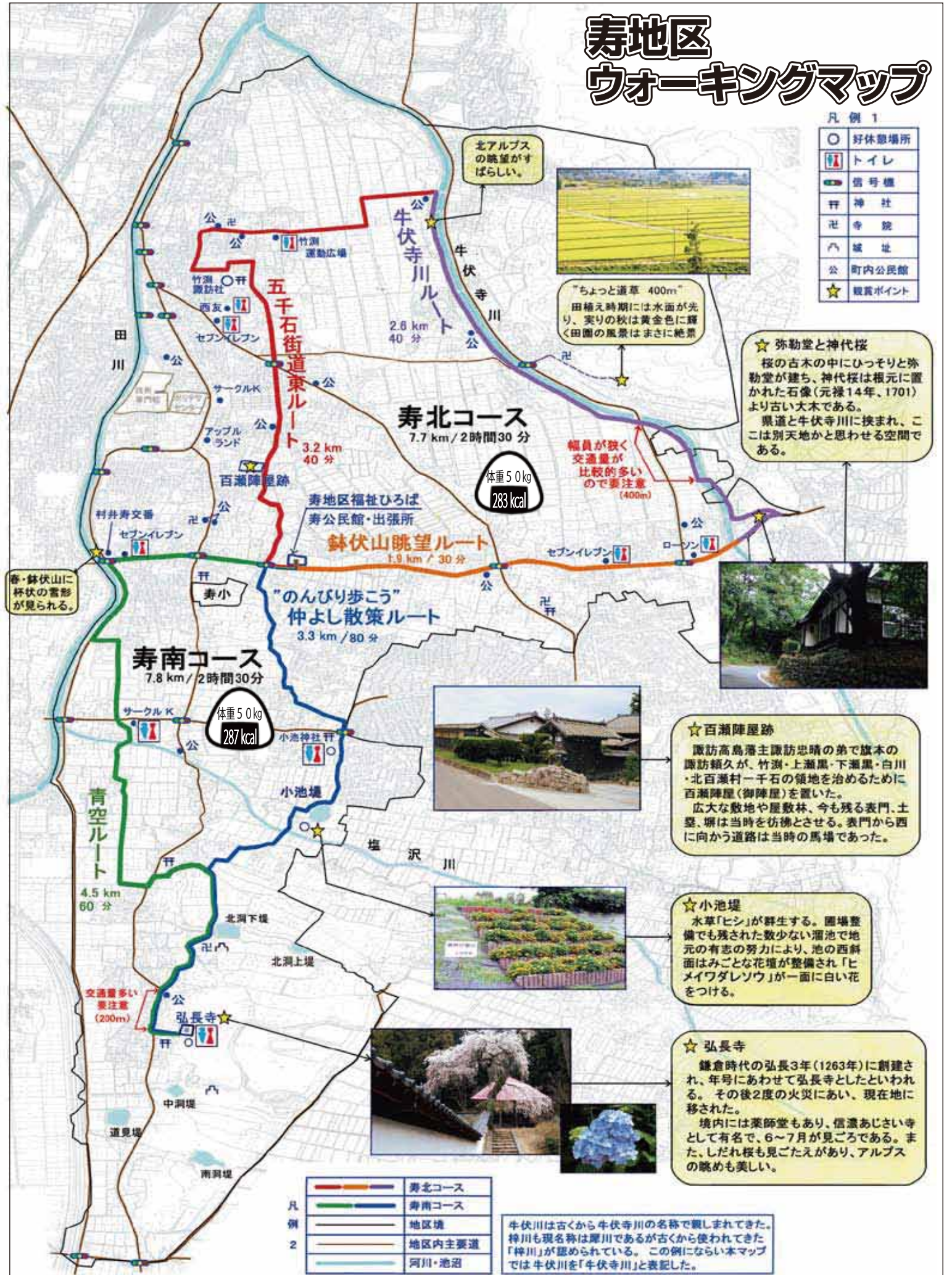


# 寿地区 ウォーキングマップ

凡例 1

○	好休憩場所
🚻	トイレ
🚦	信号機
⛩	神社
🏯	寺院
🏠	城址
🏛	町内公民館
★	観賞ポイント



体重 50kg  
283 kcal

体重 50kg  
287 kcal

★ 弥勒堂と神代桜  
桜の古木の中にひっそりと弥勒堂が建ち、神代桜は根元に置かれた石像(元禄14年、1701)より古い大木である。県道と牛伏寺川に挟まれ、ここは別天地かと思わせる空間である。



★ 百瀬陣屋跡  
諏訪高島藩主諏訪忠晴の弟で旗本の諏訪頼久が、竹瀬・上瀬黒・下瀬黒・白川・北百瀬村一千石の領地を治めるために百瀬陣屋(御陣屋)を置いた。広大な敷地や屋敷林、今も残る表門、土塀、堀は当時を彷彿とさせる。表門から西に向かう道路は当時の馬場であった。



★ 小池堤  
水草「ヒシ」が群生する。園地整備でも残された数少ない溜池で地元の有志の努力により、池の西斜面はみごとな花壇が整備され「ヒメワダレソウ」が一面に白い花をつける。



★ 弘長寺  
鎌倉時代の弘長3年(1263年)に創建され、年号にあわせて弘長寺としたといわれる。その後2度の火災にあい、現在地に移された。境内には薬師堂もあり、信濃あじさい寺として有名で、6~7月が見ごろである。また、しだれ桜も見ごたえがあり、アルプスの眺めも美しい。



凡例 2

—	寿北コース
—	寿南コース
—	地区境
—	地区内主要道
—	河川・池沼

牛伏川は古くから牛伏寺川の名前で親しまれてきた。梓川も現名称は摩川であるが古くから使われてきた「梓川」が認められている。この例にない本マップでは牛伏川を「牛伏寺川」と表記した。